

発行日 2009 年 8 月 13 日

サービス報告書

部門① 0 課コード 5040

顧客名

自然科学研究機構 生理学研究所

殿

報告書No. 06448

面会者

電子顕微鏡

課(室)

山田

様

住所

田嶋市明大寺町字西郷中38

ご承認印

山田

TEL (0564) 55 - 7893 (内 線)

E-mail:

◎ 株式会社日立ハイテクフィールドイング

TEL (052) 760 - 0450

ご依頼の作業について下記の通りご報告致します。ご確認の上、ご承認お願い致します。尚今回の作業は 有償 無償 となります。

製造年月 8 2 月
運開年月 8 2 月

依頼内容 1. 御見積に基づく点検整備

完了 ③ 0
未完 1

作業内容

お約束事項 有(件)・無 期限

1. 対物可動絞リ交換、対物固定絞リクリーニング
2. ステージ整備(丁軸ネジゆるみ取り追締め、X軸ユニバーサルジョイントシャフトにネジ部に亀裂あり手直し、試料ホルダ受け交換)
3. ペンダリング交換
4. エラストランチャー交換
5. ロータリオン整備
6. SEC整備(ロードリリ、セツスクリ、リフスプリング交換)
7. SEC用スプリングノボス交換
8. ベーキング (OUT: 8hr, IN: 9hr)
9. フォーミング強度調整
10. W-5030 水交換
11. 像質確認

1. 移IP3劣化を為、交換見積提出。
2. EMpire 2000 Mac用→Windows用に
変更できるか確認。

測定器名・標準試料名 管 理 No. 仕業点検

合

合

合

合

技 術 者 内 訳

発生日時 年 月 日 時 分

8-13 責任者名 山本峰幸

受付日時

/-/-

/-/-

/-/-

担当営業 依頼元

⑪

殿

完了日時

ご請求先

殿

注文 No.

使用部品

パーツNo.

員 数

0 日立純正部品使用 1 純正外部品使用

保証期間外無償理由

保証期間内 0

保証期間外 1

O J T 0

社内要因 1

区 分

往 復

実 働

受 注

1

D

H

D

H

保証

2

無償

0

D

H

D

H

請 求 書

貴注文番号

ご請求年月日 年 月 日

ご請求番号

平素、格別のお引立てを賜わり厚く御礼申し上げます。
下記の通りご請求申し上げます。〒465-0035 名古屋市中区豊が丘502
(日立ハイテクフィールドイング中部ビル)
電話 052-760-0450株式会社日立ハイテクフィールドイング
中部支店

請 求 金 額

(単位:円)

技 術 料	派 遣 料	部 品 代	小 計	消 費 税	合 計

取引銀行

みずほ銀行 名古屋駅前支店

普通預金 口座NO.1146505

日立走査形電子顕微鏡

定期点検記録表

顧客名 自然科学研究機構 生理学研究所 殿

形 式 S-800

製造番号 03 - 2

納入年月 1982年10月

運転開始日 1982年10月

契約期間 / ~ /

点検	実施月日	作業責任者	御承認印
第1回	8/12 ~ 8/13	山本峰幸	山田

報告書 No. 5040- 06448

株式会社日立ハイテクフィールドディング

点検良:γ 調整 :A
 手入 :△ 締付 :T
 交換 :× 修理要:N

S-800

点検 区分	点 検 項 目	○/△	コ メ ン ト
排 気 系	RPオイル量, 汚れ	✓	
	RPオイル漏れ	✓	
	オイルミストラップ	×	
	レベルゲージ汚れ	✓	
	カップリングゴム交換	×	
	異常音の有無	✓	
	ラバーホース点検	✓	
	コンプレッサー動作	✓	
	流量計(圧力SW)	✓	
	電磁弁動作	✓	
	DP 冷却水路洗浄	✓	
	DP 冷却水路水漏れ点検	✓	
	DP Warm Up時間	✓	
	DP ヒーター電圧	✓	
	断水・停電動作	✓	
	ペニングゲージ	×	
	試料交換後排気時間	✓	21sec
	試料室真空漏れ	✓	
	試料室AirにてIP-3真空度 悪化しない(V1クローズ)	✓	
	試料交換室Airにて試料室真空度 悪化しない(MV-1クローズ)	✓	
鏡 体	試料交換棒Oリング交換	×	
	(試料交換棒Eリング交換)	✓	
	IP-1 真空度 $\leq 0.5 \times 10^{-7}$ [Pa]	✓	0.1×10^{-7}
	IP-2 真空度 $\leq 5 \times 10^{-7}$ [Pa]	✓	0.1×10^{-7}
	IP-3 真空度 $\leq 5 \times 10^{-6}$ [Pa]	✓	1.0×10^{-7}
	IP-1 印可電圧(5.0~6.0 kv)	✓	
	IP-2 "	✓	
	IP-3 "	✓	
	V1バルブ ストローク	✓	
	SPECIMEN STAGE LOCK	✓	
	ビームモニタ絞り機構動作	✓	
	対物可動絞り機構動作	✓	
	対物可動絞り板	×	
	対物可動絞り押え板	✓	

点検良: γ 調整 : A
 手入 : Δ 締付 : T
 交換 : $\times$ 修理要: N

S-800

点検 区分	点 検 項 目	8/13	コ メ ン ト
鏡 体	対物固定絞り	Δ	
	シンチレータ	$\checkmark$	
	電子銃 スムーズに動作	$\checkmark$	
	COND軸調 スムーズに動作	$\checkmark$	
	試料室内クリーニング	$\checkmark$	
	各部Oリング	$\checkmark$	
	試料微動動作(X・Y・R・Z・T)	Δ	T軸ネジ追締め
	吸収電子測定端子	$\checkmark$	
	アース板	$\checkmark$	
	防振ゴム	$\checkmark$	
	試料ホルダー固定バネ	$\times$	
	試料交換室リーフスプリング	$\times$	
デ イ ス プ レ イ 系	フラッシング強度②(15~25 μ A)	Δ	27 μ A
	③(35~45 μ A)	Δ	45 μ A
	KEYボード	$\checkmark$	
	メニュー入力動作	$\checkmark$	
	A. B. C動作	$\checkmark$	
	オートフォーカス	$\checkmark$	
	ダイナミックスティグマモニタ	$\checkmark$	
	MAGロータリースイッチ	$\checkmark$	
	PRESET MAG	$\checkmark$	
	DIFFERENTIAL IMAGE	$\checkmark$	
	GANMA IMAGE	$\checkmark$	
	オートデータ表示	$\checkmark$	
	デュアルマグ	$\checkmark$	
	APT ALIGNMENT	$\checkmark$	
	スティグマ非点補正量 X	$\checkmark$	X: 486 (Mag $\times$ 50,000、WD15mm、Vacc25kv、
	Y	$\checkmark$	Y: 575 Cond10にて1.0~9.0に入っていること)
	V _{EXT} の初期値(フラッシング②直後)	$\checkmark$	2.4 kv
	V _{EXT} の値(フラッシング後2Hr後)	$\checkmark$	3.6 kv
	各部キースイッチ	$\checkmark$	
	各部VR	$\checkmark$	

点検良:γ 調整 :A
 手入 :Δ 締付 :T
 交換 :× 修理要:N

S-800

点検 区分	点 検 項 目	8/3	コ メ ン ト
C	VIEW CRT 1 明るさ	✓	
	“ 2 “	✓	
	PHOTO CRT “	✓	
R	VIEW CRT 1 クリーニング	✓	
	“ 2 “	✓	
	PHOTO CRT “	✓	
T	カメラ位置点検	✓	
	カメラ動作点検	✓	
総 合	倍率	✓	
	結像状態確認	✓	
付 属 装 置			

S-800

点検 区分	点 検 項 目	8/13
	EMpire 2000 へ PC に保存 (ディスク上 20090812 時点)	合/否
		合/否